

事例：中野けんせいえん		
建物データ ・特別養護老人ホーム120床 ・ショート:10人/特養:110人 ・10人×12ユニット	利用者データ 平均要介護度:要介護4~4.2	※建替え前の健生園では、特浴利用者は半数を超えていた
『中野けんせいえん』浴室の当初設計 ・ユニット内浴室は全て個室 ・特浴は全体で2か所	施設側の要望事項 これからの特養の将来像を考えると個室も全てリフト等機械にした方が 良いのではないかと？	設計者意見 12ユニット全てリフト可能な個室にするのは、乱暴ではないか？ 様々な施設に行き検討することを提案する

中野けんせいえん施設見学 ①ありすの杜南麻布 ②でじまぐにくさ ③介護老人保健施設『寿光園』

①ありすの杜南麻布	建物データ ・特別養護老人ホーム110床 ・ショート:10人/特養:100人 ・10人×11ユニット	浴室設計データ ・特浴3か所 ・ユニット内全て個室(在来工法リフト付)			ありすの杜 参考 6階増築部分:18床 ・9人×2ユニット ・ユニット内個室(UBリフト) ※頻繁に利用されている	
	利用者データ ・平均要介護度:要介護4前後	浴室利用データ ・特浴使用者:約25名 ・個室利用者:約85名	リフトは一切使用されていない			
②でじまぐにくさ	建物データ ・特別養護老人ホーム100床 ・ショート:10人/特養:90人 ・10人×10ユニット	浴室設計データ ・特浴2か所 ・ユニット内個室(在来工法):5か所 ・ユニット内パンジー(小型機械浴):5か所 (リクレーニング機能なし)				施設側よりアドバイスと意見 利用者の中にはリフト等機械を嫌がる利用者もいるので 運営面をよく考えること。 (利用者の気持ちを最優先するよう)
	利用者データ ・平均要介護度:要介護3.7	浴室利用データ ・特浴使用者:約15名 ・個室利用者:約85名 (在来約35名, パンジー約50名)	個室(在来)	個室(パンジー)		
③介護老人保健施設『寿光園』	建物データ ・老人保健施設80床 ・従来型	改造前浴室設計データ ・特浴2台 ・大浴槽 改造後浴室設計データ ・小型機械浴 ・個室3か所 ・3人浴1か所				施設側よりアドバイスと意見 特浴ゼロを目指し、 理事長の強い想いから、 生活リハビリ専門化である 『介護総合研究所元気の素』 上野文規氏を招いて 改革に取り組んだ。 上野氏の講習と フォローアップ研修から 職員の意識も変わり、 実践が出来た。 ※本音では一つは 特浴が欲しい。
	利用者データ ・平均要介護度:要介護3.5~3.7	浴室利用データ ・小型機械浴使用者:約1名 ・個室利用者:約79名	個室(在来)	個室(在来)	浴槽ふち	

様々な施設見学を経て、中野けんせいえんの結論

<p>浴室設計データ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特浴: 2か所 ・個浴(在来工法): 5か所 ・個浴(UBリフト付): 3か所 ・個浴(パンジー): 2か所 ・個浴(いうら製リフト付): 1か所 	<p>浴室利用データ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特浴: 24名 ・個浴(在来工法): 39名 ・個浴(UBリフト付): 24名 ・個浴(パンジー): 0名 ・個浴(いうら製リフト付): 9名 	 <p>長所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が馴染んでいるお風呂なのでよい ・お風呂がこじんまりとしていて落ち着ける <p>短所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浴槽が狭い(利用者意見) 	 <p>長所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座位保持できれば特浴を使用されていた方がはかれる ・浴槽が広く足をのばせてはかれる <p>短所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座面がすべてベルトがくいこむ ・リフトと壁の隙間が狭く腕があたる ・手前はストッパーで固定できるが中心部は固定できない ・鏡の前に手すりが欲しい。
個浴(在来): 5か所(39名使用)		個浴(UBリフト): 3か所(24名使用)	
 <p>長所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臥床したままはいれる ・体重制限がない <p>短所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチャーを下まで下げても肩までお湯につかれない ・ストレッチャーの幅が狭く背中が洗いにくく利用者の持つところがない 	<p>長所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介助者一人で臀部が洗える ・特浴を使用されてた方が使用できる ・座位の保てる方が使用できる ・背もたれが少しリクライニングになる ・リフトより背部、頭部が安定 <p>短所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浴槽に入るときに浴槽が高く足を持ち上げないと入れない 	 <p>短所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座面がすべる・安定感がない・背面がなく危険 ・パンジーよりリフトのほうが使用しやすい ・パンジー浴に入れる方は普通浴に入れる 	 <p>長所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介助者一人で臀部が洗える ・特浴を使用されてた方が使用できる ・座位の保てる方が使用できる ・背もたれが少しリクライニングになる ・リフトより背部、頭部が安定 <p>短所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浴槽に入るときに浴槽が高く足を持ち上げないと入れない
特浴: 2か所(24名使用)		個浴(パンジー): 2か所(0名使用)	
個浴(いうら製リフト付): 1か所(9名使用)			

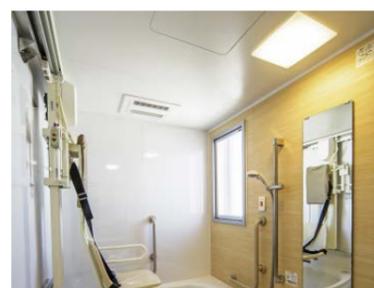
開設1周年にあたり利用状況と職員の意見等々

建替え前は利用者の7割程度が特浴を利用していたが、建替え後は在来工法の個浴とリフト付ユニットバスの利用が増えている。

利用者によっても浴槽の好みが変わり、利用者の意見や状態に合わせてその日の入浴方法を決めている。

日中も離床時間をできるだけ設けて、座位の保持に努めている。

個浴 価格比較

			 <p>入槽時の負担を軽くする「またぎサポート」</p>		<p>※1 コンクリート、ワイヤーメッシュ、コンクリートブロック、防水(壁・床)、タイル(壁・床)、金物、モルタル、アルミ製建具、ラスカット、天井バスリブ、テスリ、ステンレス浴槽、家具、他含む</p> <p>※2 TOTO製リフト、TOTO製UB1620、取付施工費込</p> <p>※3 SAKAI製パンジー、UB</p> <p>※4 いうらSEKISUI共同製リフト、浴槽、SEKISUI製UB、脇台</p> <p>※5 いうら製リフト、ダイワ製浴槽、UB</p>
在来工法	リフト付UB(TOTO家庭用)	パンジー付UB(SAKAI他)	リフト付UB(いうらSEKISUI共同)	リフト付UB(いうら他)	
業者見積価格: 約120万(※1)	定価価格: 約350万(※2)	定価価格: 約370万(※3)	定価価格: 約350万(※4)	定価価格: 約410万(※5)	